

パブリックコメントによる意見及び市の考え方

《パブリックコメントの意見及び市の考え方》

- 1 パブリックコメント実施期間 令和2年12月24日（木）から令和3年1月22日（金）
- 2 意見数 1人、2件
- 3 ご意見に対する市の考え方 次の表のとおり
- 4 ご意見に基づく計画案の対応 計画（案）の修正は行わないものとします。

NO	関連箇所	頁	意見内容	ご意見に対する市の考え方	計画案の修正有無
1	1 計画策定の背景	1	<p>計画策定の背景について</p> <p>千葉県においては、2019年交通事故死者数が全国ワースト1位とのデータがある。市において、児童生徒を対象とした通学路安全のための対策は必須だと痛感している。</p> <p>実際、登下校中の鎌ヶ谷小学校の生徒たちが、おしゃべりをしながら横にならんで歩いているところに何度もヒヤリとする場面を見た。</p> <p>こうした状況の中で関係者（警察・道路管理者・小中学校関係者・教育委員会）による通学路緊急合同点検の実施は高く評価する。今後も自転車を含め運転者の責務として実践的安全指導と安全学習機会の場を継続的に実施していただきたい。</p>	<p>安全指導については「子ども自転車安全講習会」、「スケアード・ストレイト自転車交通安全教室」等を通じて引き続き第4次通学路安全対策推進行動計画でも実施することとしております。</p>	無
2	2 第三次通学路安全対策推進行動計画の成果と課題	1~2	<p>第三次通学路安全対策推進行動計画の成果と課題について</p> <p>ソフト面とハード面はたとえば車の両輪の様なものなのでハード面を特記したい。</p> <p>学校やPTAからの要望に対し、協議や必要経費を一考して欲しい。大切な人命に関わることは、地方公共団体の責務である。</p> <p>生徒のための通学路の安全対策はそのまま全市民の安全につながると思う。</p> <p>安全教育はバリアフリー化のためにも、私の様に車いす利用者をじろじろ見たりする生徒もいることで障がいを持っている方のためにもみなで安全教育を受ける必要がある。</p> <p>具体例だが、すき家とスターバックス等が近くの交差点でボランティア・スタッフが指導されている光景をよく見る。</p> <p>彼らの代わりに仮りに関係者が安全指導を登下校時したのならば、マンパワーで効果はもっとある様に思う。交通事故件数の減少傾向の成果を認め、これまでの尽力に感謝する。</p> <p>信号機や横断歩道の設置、また拡幅工事への要望に財源をやりくりして、交通事故ゼロを目標にしていきたいと強く願う。</p>	<p>ハード面での安全対策につきましては、通学路の実態調査や合同点検等を通じて対策が必要な箇所を選定し、警察・道路管理者と連携して実施することとしております。</p> <p>ボランティア等地域の方々との連携につきましては、計画案の推進項目「地域との協働で取り組む安全対策」の取組み項目「安全ネットワークの統合調整」等を通じて、より効果的な活動を目指していきます。</p> <p>安全教育については、「子ども自転車安全講習会」、「スケアード・ストレイト自転車交通安全教室」等を通じて児童生徒に引き続き指導することとしております。</p>	無